

科学技術連携施策群の成果 及び今後の課題と進め方 (中間報告案 概要)

平成18年11月9日

基本政策推進専門調査会

・科学技術連携施策群とは

- ・科学技術連携施策群(連携施策群)の特色
 - 国家的・社会的に重要で、府省連携して推進すべき**テーマを設定**(8つの連携施策群を決定)
 - 府省施策の重複排除と連携を強化するため、各群に**WG及びコーディネーターを設置**
 - 連携施策群の中で、欠落している重要課題を抽出し、研究等を実施(**補完的課題の実施**)
 - 平成17年度7月から活動開始

科学技術連携施策群

各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを定め、科学技術連携施策群として積極的に推進
(総合科学技術会議決定 平成16年7月23日)

【目標、主な関係府省】

ポストゲノム
- 健康科学の
推進 -

ティラーメイド医療やゲノム創薬、予防医学などの確立を目指す

文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省

バイオマス
利活用

バイオマス利用、燃料転換等の技術開発により循環型社会形成を目指す

総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

新興・再興
感染症

新興・再興感染症から国民の安心・安全を守る研究体制の確立を図る

内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省

水素利用/
燃料電池

水素エネルギー社会実現のため水素利用、燃料電池技術の確立を目指す

総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省

ユビキタス
ネットワーク
- 電子タグ技術
等の展開 -

ユビキタスネットワーク社会実現の上で中核的な技術基盤の確立を図る

総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省

ナノバイオ
テクノロジー

ナノとバイオの融合領域研究により健康寿命延伸等安心安全な社会を目指す

文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省

次世代
ロボット
- 共通プラット
フォーム技術
の確立 -

次世代ロボットのさまざまな応用分野に共通のプラットフォーム技術の確立を図る

総務省、文部科学省、国土交通省、経済産業省、農林水産省

地域科学技術
クラスター

地域における革新技术・新産業創出を通じた地域経済の活性化を図る

内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

・科学技術連携施策群の成果

これまでの取組より、以下の成果が得られつつある。

1. 府省施策の**重複の排除**
2. 府省間の**連携強化**による成果
3. **補完的課題**の実施による成果

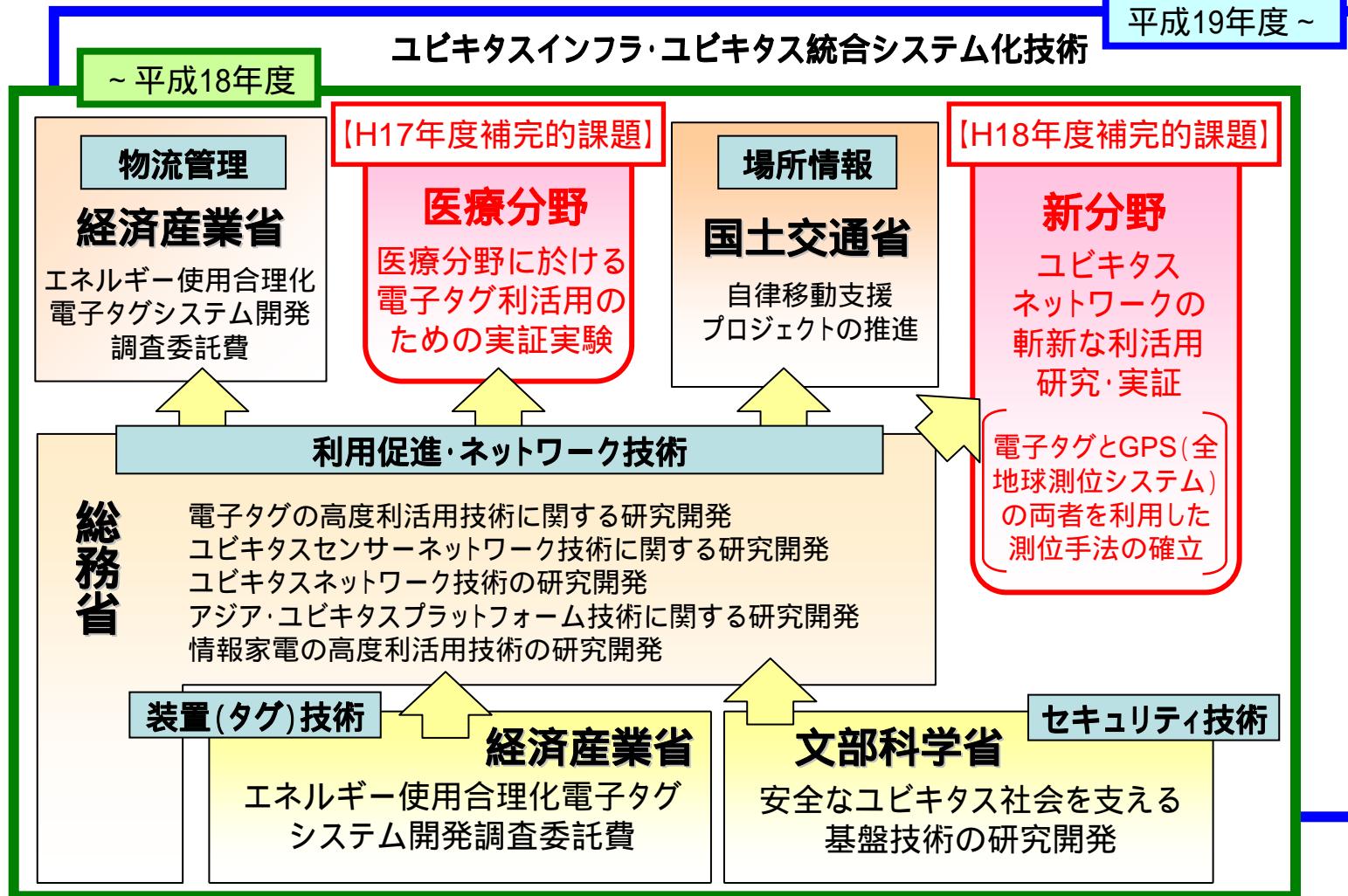
－1. 府省施策の重複の排除

不必要的重複を排除するシステムの確立

- ・各連携施策群毎に**WG**を設置(コーディネーターを配置)
- ・府省施策の**全体俯瞰図**の作成によるチェック

ユビキタス創造的生活支援基盤の確立

↑
利活用
↑
ネットワーク技術
↑
基盤技術



－2. 府省間の連携強化による成果

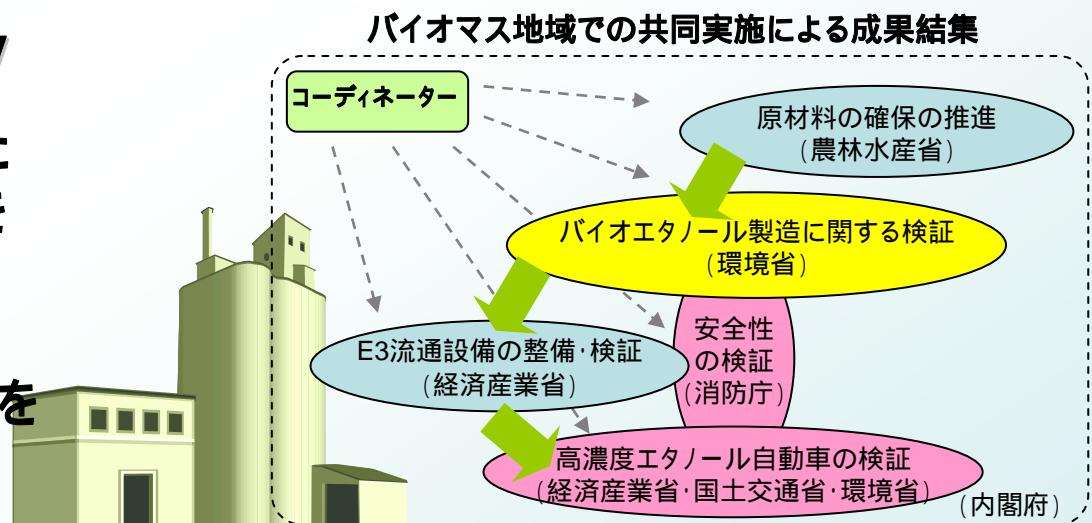
所掌を越えた広い視点で、目標が共有され、

- ・役割分担の明確化、
- ・成果の相互活用、

が進み、研究と価値創造が加速化

(例)バイオマス利活用

各省が個別に対応していた
バイオマス利活用の施策を
統合し、車両の燃料用バイ
オエタノールの生産から利
用までの一貫したシステムを
構築



- 3. 補完的課題の実施による成果

個々の府省では対応しにくかった**共通の研究基盤整備**を行い、成果を創出
全体俯瞰図をもとに、**欠落していた重要研究課題**を抽出し、研究全体を推進
補完的課題として、H17より11課題、H18よりさらに8課題を実施中

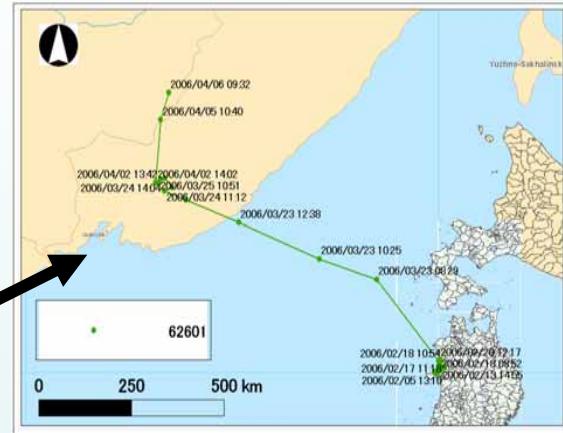
(例1)「生命科学データベース統合に関する調査研究」(ポストゲノム)
文科省、厚労省、農水省、経産省

生命科学関係のデータベースの統合に関する課題を抽出し、
生命科学の研究開発基盤の強化に貢献する

(例2)「ウイルス伝播に関する野鳥の飛来ルートの調査とそれら野鳥における病原体調査及びデータベース構築」(新興・再興感染症)
文科省、厚労省、農水省

ウイルス伝播に関する野鳥の飛来ルート等を解明し、我が国の感染症対策に貢献する

発信器を装着した野鳥(ミヤマガラス)の移動経路



・今後の課題と進め方

1. 課題

- ・研究開発から利用までの一貫した連携強化
- ・府省だけでなく民間を含めた情報の共有
- ・今回の連携施策群制度の検証に基づく本制度の更なる活用

2. 今後の進め方

- ・产学研連携を本格化するためのシンポジウム等の開催（产学研官プラットフォームの形成）
- ・連携施策群の手法を活用し、分野別推進戦略の効果的な推進のため、戦略重点科学技術に拡大
- ・その際、予算の効率的な活用に配慮しながら、連携効果、イノベーション創出の加速化等の観点から、対象となる戦略重点科学技術を選択し、集中的に推進
- ・補完的課題は、共通の研究基盤整備の観点を重視